

おはなしにどどん夢中になる！『プログラム』

平成26年6月、おふたりが訪れたのは松阪市立豊田幼稚園です。はるルン♪さーん、くまくまさーん！という子どもたちの元気な呼び声からおふたりが登場し、はるルン♪のウクレレにあわせて手遊びが始まりました。

この日、幼稚園は一斉保育公開日で約100名の3〜5歳児とその保護者が集まっていました。三重県環境学習情報センターとの共同出前講座で、『環境』に関するおはなしもしていただきました。

まず最初に手遊びで子どもたちの心をグツとつかんだ後は、エプロン式の人形劇、

紙芝居、大型絵本と続きます。どれもはるルン♪とくまくまの手づくりのおはなしです。これらのおはなしの他に、歌や手遊びなどを取り入れて、全体で約20分のプログラムを行いました。

そのなかで三重県のごみゼロキャラクター『ゼロ吉』が登場するおはなしをしました。丸くて可愛らしいゼロ吉は、子どもたちに人気のキャラクターです。はるルン♪のエプロン式の人形劇『いただきますゼロ』では、人間が捨てた大量のご

みを食べて、お腹いっぱいでも苦しそうなゼロ吉が出てきました。

そして次に読んだ紙芝居『ごろごろすっぽん！』は、そんな困ったゼロ吉をはるルン♪とくまくまが助けにいくというおはなしです。エプロン式の人形劇が紙芝居への導入となっており、おはなしとおはなしにつながるのがあるプログラム構成になっています。

菅原さん「幼児を対象とした場合、おはなしを聞いてもらうだけでは飽きてしまうことがあります。子どもたちがよりおはなしに引き込まれるような工夫をしています。」

ごみがたくさん出て困っているゼロ吉のおはなしを聞いて、子どもたちはそれぞれ

れに何かを感じとってくれていたようでした。最後に「みんなもごみを減らすために協力してね！」とお話ししました。日常生活の中でも、この日のおはなしを思い返してもらえたらいいと思います。

はるルン♪とくまくまが子どもたちのよく知っている歌を歌うと、喜んで一緒に歌ってくれます。そんな子どもたちの嬉しそうな表情を見ることが、おふたりにとって一番幸せな瞬間だそうです。



①手遊び ②エプロン式の人形劇『いただきますゼロ』
③紙芝居『ごろごろ すっぽん！』 ④大型絵本『びっくりしたな ほんじやな』は松阪弁でのおはなしです。 ⑤広がる絵本『ペロリ』

三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



三重の豊かな森から生まれた森の妖精。人間で言うところの小学4年生くらいかな。僕が大人になった時も自然豊かな三重県であって欲しいから、資源を大切に暮らしているよ。人間がたくさん出すごみを食べたので、今は、ちょっと太めな体だけど、大人になった頃には、ダイエットしてスリムになるぞ〜。